

一般社団法人 日本子育て支援協会
講師

岩本久実子氏



子連れに配慮した
見学対応のポイントとは

パパママ・キッズ婚の場合、式場見学へ行くこともハードルが高いもの。子連れで見学へ行ったパパママにアンケートをとったところ、

「カップルばかりで恥ずかしかった」「見学会は別の日程を組んでもらえると参加しやすい」「おむつ交換や授乳ができる場所がなかった」「スタッフがあまり積極的に関わってくれなかった」など、「困った!」という声が多数寄せられました。(ミキハウス子育て総研㈱「パパママ・キッ

パパママ・キッズ婚の式場見学

ズ婚に関するアンケート」より)

またミキハウス子育て総研発行の子育て情報誌『Happy-Note』内でパパママ・キッズ婚特集記事を読まれた方からは「子どもと一緒に結婚式ができる」とは初めて知った!という驚きの声が寄せられるほど、まだまだパパママ・キッズ婚の認知は低いという現実です。

一方でこういった声にお応えし、パパママ・キッズ婚へ配慮ある見学対応ができれば他施設との差別化になるのではないのでしょうか。

昨今では式場見学の回遊率が低下していると言われていますが、パパママ・キッズ婚の場合も、子どもと一緒に数を回るのはしんどいものです。そのような中、子連れで行った先で、至れり尽くせり

の居心地の良さや安心感が得られると、他は回らずそこで決定!となることも考えられます。

では子連れ配慮の見学対応について6つのステップで紹介しましょう。

- ①事前に子どもの情報をヒアリングし、性別や年齢に合わせた備品やグッズの準備を
- ②ベビーカーのことを考え、バリアフリーの対応を
- ③人目を気にしないで済むよう、個室もしくは目隠しできるスペースへのご案内を
- ④来館時に授乳コーナーやおむつ替えコーナーのご案内をカードに明記しお渡しを(お子さま連れウェルカムカード)
- ⑤ご案内中に授乳やおむつ替えのタイミングの気遣いを(スタッフからの説明中に

言い出しづらいという声あり)

- ⑥案内の最後に口頭でのご案内事項を書面化してお渡し、もしくは後日郵送を(子連れの場合、説明を聞いている際にも注意がそれて話が抜けてしまっていることがあります)

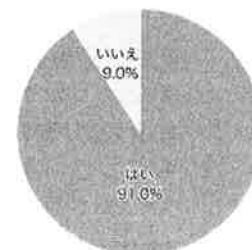
他にも子連れの場合、お昼寝にかかる時間帯は外した方が良いのかなど、来館前にヒアリングできることは徹底し

てお伺いしておくことが成功のポイントです。

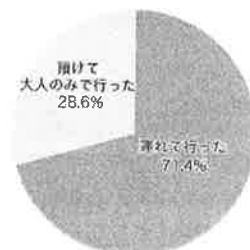
ハード面での整備を要するところもありますが、プランナー各人の心がけにより、子連れでの見学が楽しいものになるのか、居心地の悪いものになるのか大きな差が出ます。

子連れでお出かけという高いハードルを越えて来館されたパパママへ、精一杯のウェルカムが伝わるような配慮をぜひご留意ください。

Q. 実際に式場見学へ
行きましたか?



Q. 式場見学は子連れで
行きましたか?



Weekly ゴーゴーリサーチ(特別編)「パパママ・キッズ婚に関するアンケート」(2014年7月)より

連載

⑦

毎月11日号